

ACOLS ニュース No.211

ハイブリット質量分析計 (LTQ Orbitrap XL) のご利用に関するお知らせ

平素よりお世話になっております。このたび、生命科学機器分析部において平成 30 年 4 月から供用開始しておりますハイブリット質量分析計 (LTQ Orbitrap XL) に、高速液体クロマトグラフ (Nexera X2) を接続した利用が可能になりましたのでお知らせいたします。これにより、フローインジェクションによる複数サンプルの連続測定および LC/MS が可能になりました。ご利用にあたっては、以下の登録と予約の方法をご覧ください。

【利用登録について】

「自然科学研究支援開発センター 生命科学機器分析部 利用登録申請書」にて質量分析装置の利用申請を行ってください。使用料は 500 円/30 分です。

LTQ Orbitrap XL は霞総合研究棟 112 号室にあります。

※本装置は「大学連携研究設備ネットワーク」には未登録です。

【利用予約について】

LTQ Orbitrap XL をフローインジェクションまたは LC/MS でご利用になる場合、高速液体クロマトグラフ Nexera X2 および窒素発生装置を接続しておく必要があるため、前日までに acols@hiroshima-u.ac.jp までご連絡をお願いいたします。

なお、Nexera X2 は通常他の LC/MS 機 (トリプル四重極型質量分析装置 LCMS-8050) に接続しているため、LCMS-8050 の利用者と重複していない場合のみ使用できます。

【備考】

LTQ Orbitrap XL は、先端研究基盤共用促進事業 (共用プラットフォーム形成支援プログラム)「原子・分子の顕微イメージングプラットフォーム」(<http://www.imaging-pf.jp/>)でも共用している装置です。そのため、機器利用形態が「事業利用」と「学内利用」の 2 通りありますが、上記手続きでご利用される場合は「学内利用」となりますので、ご注意くださいようお願いいたします。

なお、LCMS-8050 および同部屋設置のイメージング質量分析装置 iMScope は上記事業専用装置のため、機器利用形態は「事業利用」のみです。弊社登録申請書ではない別の利用手続きが必要となっておりますのでお問い合わせください (上記事業 HP で事業概要や対象装置をご覧ください)。

<連絡先>

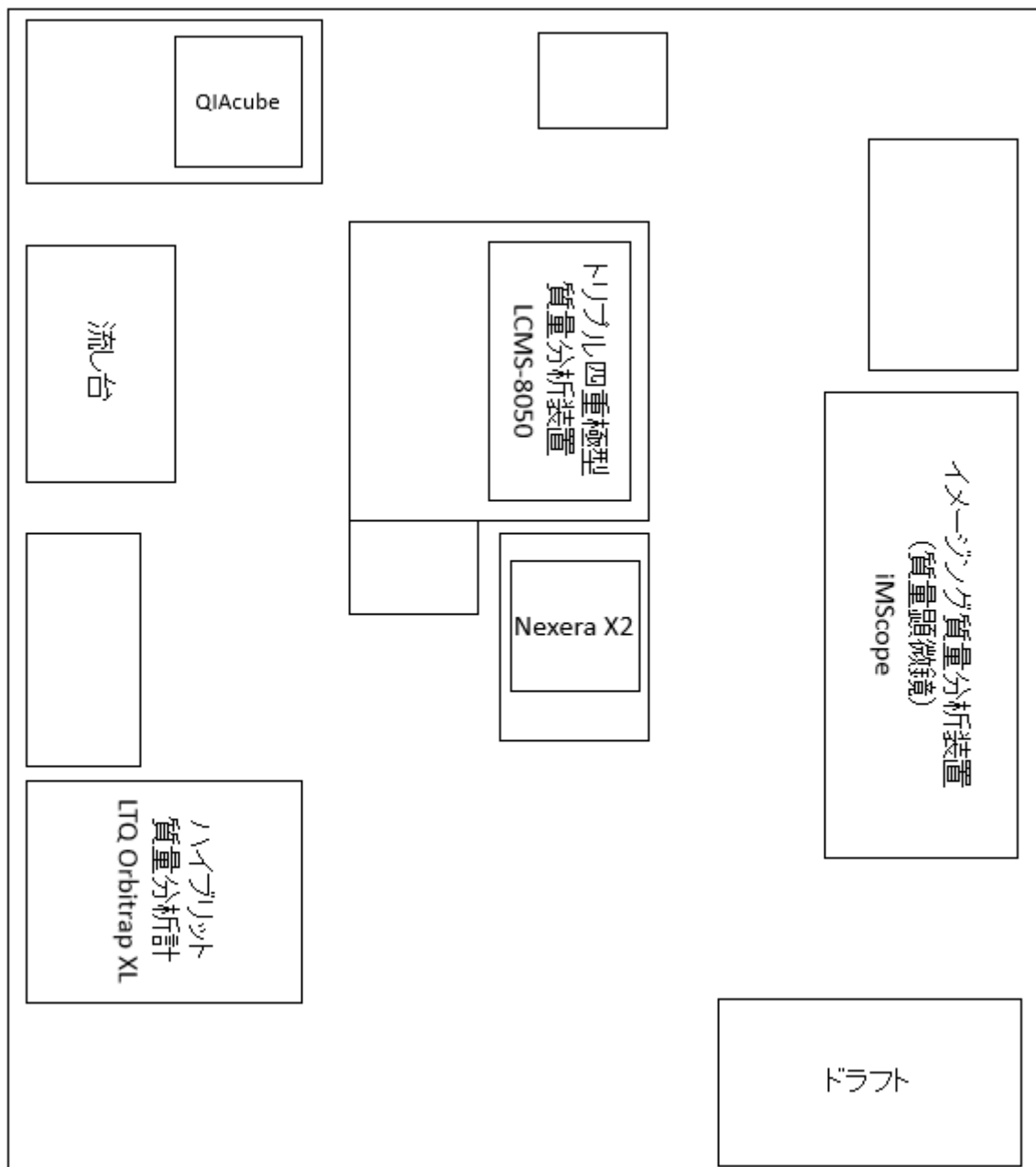
自然科学研究支援開発センター 生命科学機器分析部 霞総合研究棟 122 号室

事務担当：池宗 電話：082-257-1510 (内線 6170)

機器担当：原田 電話：082-257-1565 (内線 6844)

E-mail： acols@hiroshima-u.ac.jp HP： <http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

追記： 本施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記していただきたいと存じます（謝辞例文 This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Natural Science Center for Basic Research and Development, Hiroshima University.）。さらに、実績として役立たせていただくため、別刷 1 部を本施設にご提供いただければ幸いです(コピー、pdf ファイルでも結構です)。



霞総合研究棟 112 室 装置配置図概要